

平成23年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市資源再生センター			
管理者名	環境をサポートする株式会社 きらめき	指定期間	平成23年4月1日	～ 平成26年3月31日
担当課	環境部廃棄物対策課			
所在地	新潟市東区下木戸3-4-2			
根拠法令				
設置条例	新潟市資源再生センター条例			
施設概要	飲食用缶の選別施設に併設。 ○全体の敷地面積 約6,452㎡ ○床面積 1,162㎡（啓発部分）+184㎡（見学者通路） ○構造・規模・鉄骨造り・2階建 ○主な施設内容 1階 展示ホール, 事務室, 再生工房 2階 大研修室, 研修室, 実習室, 講座室, 見学者通路 屋外駐車場 建築年 平成8年3月			

施設設置目的
廃棄物の減量, 再資源化及び再生利用を図り, 快適な生活環境づくりと資源循環型社会の形成に資するため新潟市資源再生センターを設置する。
管理・運営に関する基本理念, 方針等
(1) 廃棄物の減量, 再資源化及び再生利用に関する啓発 ごみの排出抑制や再利用, 再資源化を柱とした循環型社会の構築に向け, 施設見学やリサイクル啓発事業を実施し, 環境意識の向上を図ること。 【重点課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・施設見学においては, 特に分別の重要性や再資源化の有用性について情報提供し, 啓発に努める。 ・リサイクル講座・講演会, 不用品交換会, 展示提供事業を実施し, ごみの減量や再生利用について普及啓発に努める。 ・大研修室や実習室, 講座室を利用した市民の環境関連活動を支援する。 ・「新潟市一般廃棄物処理基本計画」など市の施策に積極的に協力し, 計画達成の役割を担う事業を企画運営する。 (2) 利用者が, 清潔で安全かつ快適な施設を利用できるよう努めること。 【重点課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・公の施設を管理運営する責務を認識し, 市民の平等利用の確保を図る。 ・利用者の安全確保を最優先とし, 安心の提供及び快適性に重点を置いた管理運営を行う。 ・利用者からの意見, 要望を反映させた管理運営を行う。 ・法令の遵守(個人情報保護等) (3) 利用者の満足度向上を図るとともに, 管理経費の縮減に努めること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	ホームページの充実と情報誌年2回以上発行	ホームページからの抽選申し込み可能とした・年3回広報誌発行	A	徐々にホームページ上の申込が増えている
	施設見学者数	団体数, 見学者数の増加	H22年度より約500人減少	C	市関係の見学団体数が減少・オープニングイベント震災の影響で未実施
	利用者の満足度	利用者アンケートで管理運営全般についての問いに対し「概ね満足」以上が80%以上	未実施	C	未実施
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には3営業日以内に回答	適切に実施	B	
	設置目的に合致した事業の実施	リサイクル講座を70回以上開催	130回開催	A	新規講座を増やした
財 務	管理運営経費の縮減	管理運営経費を指定管理料年度協定額以下	適切に実施	A	
業 務	人員配置計画の妥当性	サービス水準維持のための人員適正配置	適切に実施	B	イベント時は人員増にて対応
	事件・事故発生時の対応	事件・事故発生時の速やかな処置及び報告	適切に実施	B	報告, 迅速な対応が行われている
	個人情報保護	情報セキュリティ研修を年1回以上実施	適切に実施	B	情報セキュリティ研修年1回実施
	業務仕様書に定める事項の遵守	その他業務仕様書に定める事項の遵守	適切に実施	B	適切に遵守されている
人 材	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適切に実施	B	適切に遵守されている
	職員の能力向上	接客研修等を年1回以上実施	適切に実施	B	接客接客研修を年2回実施

総 合 評 価 (所 見)

平成23年度は直営から指定管理者へかわった最初の年度でした。
東日本大震災・受け入れ基準の明確化等の影響で、不用品の持ち込み・回収点数が減少する中での展示数及び抽選申込数の増は評価します。
市民対応の悪さからクレームがありました。接客接客研修等を通じてクレームの減少に努めていただきたいと思います。
平成23年度は利用者アンケートが未実施だったので次年度は実施し、それぞれの要望や施設に対する期待を把握し、施設の運営に活かしていただきたいと思います。